

「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律案」

**通称「不登校対策法案」の 廃案を求める署名に、ご協力お願いします。**

私たちは、今、国会で継続中の「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律案」通称「不登校対策法案」の廃案を求めて署名活動に取り組んでいます。

学校の休み明けに、命を絶つ子どもは後をたちません。子ども人口が減少する中でも、年間 30 日以上欠席している不登校の子ども達は、全国で 12 万人と反比例して増えています。また、その 5 倍以上の子ども達 60 万人が、適応教室や保健室で過ごしていると言われています。

子どもが自分の体、心、命までかけて、今の学校に警告を発しているのに、文科省は、この不登校の状態を子ども達の問題としています。

不登校の問題は、学校を少人数学級にし、子ども達に継続して親身に関わることでできる教員の増員でしか解決できません。子どもが、不利益を受けず、安心して休むことのできる学校こそ必要です。

すでに、不登校気味になった子どもは、家庭、医療、学習などの個人情報丸裸にされるシートの作成が進められています。シートは、高校 4 年まで継続され、学校以外の地域の関係団体で共有されます。その中には、警察も含まれています。

また、法案には、民間の活用も盛り込まれています。現在、高校では、サポート校と言われる株式会社が急激に増え、ウィッツ青山のようなひどい学校が報道されたばかりです。そのウィッツ青山学園高校の創設者は、下村元文科大臣の後援会会長です。

法案が通れば、義務教育も同じようになります。

このように、この法案は、子ども達のための法案などではなく、利権が絡み、子ども達を管理し、さらに追いつめていく法案なのです。

反対の声は、広がっています。今後、反対する人達と、街頭署名、署名提出行動、議員会館での公開学習会、反対の方や団体の賛同を集めるなどの取り組みを予定しています。TPP など、大きな審議がある国会ですが、この子ども達の法案にも、ぜひ、目を向けていただきたいと思います。

NPO 法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ

理事長 青島 美千代

**一人でも多くの署名を集めています。ぜひ、ご協力お願いします。**